１／２成人式

中学３年クラス紹介

中学３年担任　藤田　結衣

中学校３年生の３名は「一致団結～全力で For you, For me～」を学級目標に掲げ、利島村での最後の１年間を駆け抜けました。「決して弱音を吐かず、最後まで努力する」、「細やかな気配りで周囲を支える」、「素直な気持ちをもって何事にも挑戦する」……。
挙げればきりがありませんが、最上級生としての頼もしい姿に、たくさんの場面で出会うことができました。「高校受験」という大きな壁に立ち向かい、無事に乗り越えられたのも、そんな３人だったからこそだと思います。

もう間もなく、９年間の義務教育を終えようとしています。私が一緒に過ごすことができたのはわずかな時間でしたが、３人がもつ温かさは、利島村の皆様方から受け継がれたものだと思います。様々な面で支えていただき、本当にありがとうございました。もっともっと大きな世界に羽ばたいていく３人の応援を、これからもどうぞよろしくお願い申し上げます。

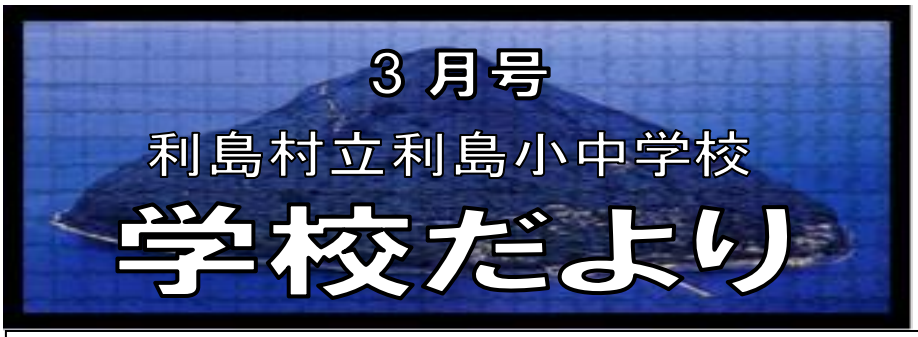
利島のみなさんが　これからも
明るく元気にすごせますように！

利島小中学校が　これからも
笑顔と感動であふれますように！

３月予定表

1	月	挨拶週間始 学校公開週間始 短縮５時間	15	月	全校朝会
2	火	生活朝会(安全指導)　SC（～４日）	17	水	③④卒業式予行練習
3	水	NRT(中)	18	木	給食終 ⑤⑥卒業式準備
4	木	小６年生を送る会	19	金	卒業式
5	金	３送会準備 月１発表会　児童・生徒会委員会活動	20	土	春分の日
6	土	朝会 挨拶週間終 学校公開週間終 土曜時程	24	水	④大掃除
		保護者会　1/2 成人式（小４）　中３年生を送る会	25	木	修了式 離任式
8	月	委員会朝会 NRT 期間始(小学校)（～12 日） 二測定(小６・中３)	26	金	春季休業日始（～４月５日）
10	水	修学旅行(中 3)出島			
12	金	修学旅行(中 3)帰島			

東京都利島村立利島小中学校　☎04992-(9)-0021　FAX 04992-(9)-0024　アドレス toshisc@dl.dion.ne.jp



教育目標

自立

よく考え　進んで学ぶ人
思いやりのある　心豊かな人
元気に　たくましく生きる人

令和３年３月１日　　発行／利島村立利島小中学校

心のつながりを大切に

校長　髙橋　健志

２月は、日本全国で広く雨や雪が続き、北日本では例年にない降雪量になる地域もありました。２月 13 日の夜中には、島外学習先の式根島の民宿で揺れを感じ、後から福島県沖地震として、震度６強が観測された地域もあるということを知りました。10 年前の東日本大震災時の余震という発表があり、今なお復興に向けて尽力している人々の苦労はいかばかりかと案じています。利島では、12 月 18 日の夕方６時すぎに、震度５弱の揺れを感じ、ニュースでも利島の文字が盛んに流れました。利島で震度５以上の揺れを記録したのは、平成 12 年の新島神津島近海を震源とする地震以来ということなので、下校していた小中学生もさぞ驚いたろうと思います。しかし、毎月の避難訓練の成果で、テーブルの下に隠れましたという話も聞き、準備は大事だと改めて思いました。

想像もつかないことが起こりうるという意味では、昨年のこの時期から、様々な準備と新しい対応を迫られているコロナ禍は、現在も続いています。密にならないことやソーシャルディスタンス（社会的距離）は、日常生活においても、学校生活においても、常に意識されるようになりました。昨年度まで、本校は、極少人数の利点を生かし、集会や始・終業式は多目的室で行っていましたが、今年度は体育館で実施しています。皆がギュッと集まり、すぐ近くで語りかけられるよさは格別でしたので、少し残念です。しかし、人と人との距離は保ちながらも、ソウルディスタンス「心の距離」は近くでありたいと願っています。お互いのことを、大切に思ったり、優しい気持ちで接したりできるのは、利島小中学校の子供たちの最大の長所だと感じています。

３学期に入り、島々間の移動ということで、中学２年生が大島へ、小学５・６年生が式根島・新島へ、島外宿泊学習に行かせていただきました。いずれの島でも、町村教育委員会等から、バス移動や現地での学習、訪問先との調整など、多大なる支援をいただきました。また、荒天による急な日程変更等で、宿泊先や訪問予定をしていた関係機関にも迷惑をおかけしました。それでも、気持ちよく対応していただき、「次の機会に」と優しく声をかけていただきました。これまで、利島小中学校、利島村という単位での温かさは常に感じていたところですが、お隣の島の私たちに対する温かさは想像を遙かに超えたものでした。海を隔てていても、相手を思いやる「心の距離」は近い、とありがたい気持ちになりました。

３月 19 日には、卒業式が予定されています。小学生７名・中学生３名が進学します。昨年は、臨時休校が始まり、準備期間がないまま卒業式になりました。今年の参列は、卒業生の家族と少数の来賓のみという形にはなりますが、開催できることを嬉しく思っています。

保護者・地域の皆様には、一年間温かく見守っていただきありがとうございました。４月からもどうぞよろしくお願いいたします。

３月の生活目標	３月の食育目標	３月の保健目標
感謝の気持ちを表そう	食生活について反省しよう	１年間の生活習慣を見直そう

利島の子供たちよ！ *粘り強く*あれ！

研究推進委員長　松葉　祐輝

「もう少しだけ続けてみたらいいのに･･･」「なんですぐにあきらめてしまうのかしら･･･」

普段から本当によく頑張っている利島の子供たちですが、我々大人の目からみると、時にそのような気持ちになることもあるのではないでしょうか。

令和２年度の利島小中学校の研究テーマは、**「粘り強く学習に取り組む児童・生徒の育成 ～より良い判断、豊かな表現につなげるために～」**です。これは、少人数学級がほとんどである本校で、教員が手取り足取り指導しがちなことによって児童・生徒の「粘り強さ」がうまく育っていないのではないか、という我々教員の反省点から設定されたものです。また、今年度から小学校で新学習指導要領が実施されています（中学校は来年度から）が、新しく示された育成すべき資質・能力の１つとして、「主体的に学習に取り組む態度」というものがあります。これは、「粘り強い取組を行おうとする側面」と「自らの学習を調整しようとする側面」の２つの側面から評価することが求められており、このような観点からも今年度取り組むべき内容として、教員全員で１年間研究を行ってきました。その柱となるのが、年間５回の研究授業です。

研究授業後の協議会の様子

９月に行われた渡部教諭による小学校４年生の社会科の授業では、考えを複数出させることや教師の発問の工夫、ペアワークを取り入れることなどを通して、合意形成を「粘り強く」行っていく場面を設定しました。10 月に行われた藤田教諭による中学校３年生の国語科の授業では、自分が書いた文章を発表後に再構成させるという「粘り強さ」を引き出す過程を組み込みました。11 月に行われた上野教諭による小学校２年生の算数科の授業では、段階的なヒントの提示、教師の声かけの精選やタイミングの工夫をすることで、「粘り強さ」の育成を図りました。12 月に行われた松村教諭による中学校２年生の道徳科の授業では、モラルジレンマ教材を活用し、生徒が互いの意見や考えを交流させながら考えを深める活動を通して、「粘り強く」思考を積み重ねる習慣を培う実践を行いました。１月に行った松澤教諭による中学校２年生の数学科の授業では、簡単に見えたり、当たり前に思えたりする問題について、実験によって結果を明らかにする活動を設けることで、興味をもたせ継続的な活動につなげていく授業を展開しました。実践内容や工夫はそれぞれですが、どの授業においても子供たちの粘り強い姿を見ることができました。また、毎回内地から講師を招聘し、有益な示唆や助言をいただきました。

今年度は感染症対策の観点からも新しい取組を行いました。三密を避けるため、教員の一部は授業を別室からモニタリングするというものです。また、悪天候のため来島ができなかった講師も、リモートでの授業参観、協議会への参加を試行しました。まだまだ改善すべき点はありますが、新しい研究授業のあり方を模索できた機会でもありました。

本研究で得られた成果は研究紀要としてまとめ、来年度以降に引き継いでいきます。より良い教育活動につながるように、今後も日々の授業実践とともに研究活動を推進してまいります。

文化行事委員会　展覧会担当　松村　健太

１月 29 日（金）から１月 31 日（日）まで本校体育館で展覧会が開催されました。児童・生徒の１年間の学習の成果を発表する場として、授業で作った多種多様な作品や学校生活の様子のスライドショーなどが展示されました。新型コロナウイルスの影響もあり、例年に比べると出品数は少なくはなりましたが、力作ぞろいで見応えのある展覧会となりました。

１月 30 日（土）の発表会は、児童・生徒一人一人が特に見てもらいたい作品について、頑張ったところや工夫したところなどを発表しました。互いの作品を鑑賞し合う機会は貴重で、表現力は作るだけではなく、人の作品を鑑賞することでも高まっていきます。また、自分の発表を聞いてもらい、拍手をいただいたことで児童・生徒の自信にもつながったと思います。

保育園や社会福祉協議会等の団体や個人での一般参加作品も充実していました。参加してくださった団体・個人の皆様、多彩な出展をありがとうございました。来年度もぜひ、展覧会へのご参加をよろしくお願いいたします。

そして、アンケートや作品への感想等も大変励みになりました。ご来場くださいました皆様ありがとうございました。日頃からのご支援・ご協力感謝いたします。